

**2011 医療福祉相談 利用状況**

相談内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月
在宅	22	21	18	32	26	26
退院	6	8	5	4	2	5
転院施設入所	28	37	41	37	36	30
入院	2		2	1		
他法他施策	1				1	
医療費		1			2	
その他	97	101	83	55	76	48
<b>合計</b>	<b>156</b>	<b>168</b>	<b>149</b>	<b>129</b>	<b>143</b>	<b>109</b>
継続	721	804	706	824	797	629
総合計	877	972	855	953	940	738

**2011 病診連携 利用状況**

依頼内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月
外来受診	175	180	173	158	162	151
入院	23	30	15	12	12	24
CT	23	30	21	32	29	20
MRI	21	14	12	11	11	14
RI	1	1	1	1		1
胃透視	1	1		1		
注腸透視						
心エコー		2	5	3	1	
脳波						
トレッドミル		3	1		3	1
ホルター心電図			1			
胃カメラ	3	15	10	6	6	13
腹部エコー		1	1		2	3
その他検査	2	2		1	1	1
<b>合計</b>	<b>238</b>	<b>276</b>	<b>240</b>	<b>225</b>	<b>227</b>	<b>228</b>

**地域医療連携室からのお知らせ**

新年、明けましておめでとうございます。  
 昨年は地域連携に格別のご指導を賜わり、誠にありがとうございました。昨年は「地域医療機関の先生方と共に地域医療を支援していく」ということを一つのキーワードとして地域連携に取り組んでまいりましたが、地域の先生方には北摂三田脳卒中連携シェアリンググループ（脳卒中連携パス）にご参画いただいたり、地域連携登録医にご登録いただくなど多大なるご協力をいただきました。また、当院といたしましても1日でも早くご紹介いただいた患者さまの返書や病院情報などをお届けできるよう連携調整担当（渉外担当）を配置し、随時、ご訪問させていただきました。お忙しい中、対応いただきました先生方、看護師さん、受付の方々には大変、感謝いたしております。今年のご訪問させていただいた折に、先生方のご意見、ご要望、ご意向などをぜひお伺いしたいと思っておりますので、お忙しいとは存じますが、よろしく願い致します。

地域医療連携室 地域連携センター長 吉本 勉

**地域の先生方からの御感想**

当院あるいは今回の通信誌についてのご感想など下記にご記入の上、FAXにてご返送くだされば幸いです。

病院・診療所名 \_\_\_\_\_  
 TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_



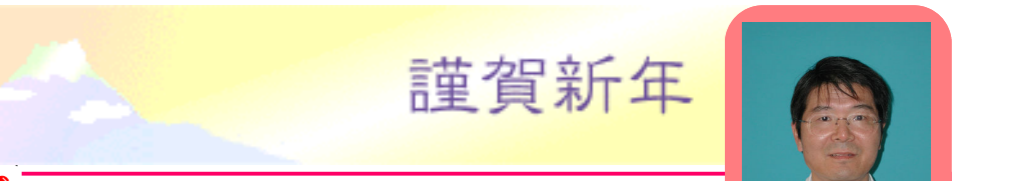
**三田市民病院情報誌 SANDA R☆シェアリング通信**  
**三田市民病院 地域医療連携室**  
 監修 吉本 勉  
 電話 079(565)8000 FAX 079(565)8018



**新春号 2012. 1**

**Contents**

- 病院事業管理者兼院長のご挨拶 1
- 地域オープン研修の開催 2
- 神戸市北区医師会学術講演会での講演 3
- 地域医療連携室のご案内 4



**謹賀新年**



**新年のご挨拶**  
 病院事業管理者兼院長 佐野 博志

新年に思うこと  
 新年明けましておめでとうございます。皆様にはご家族おそろいで、すがすがしい気持ちのなか新年を迎えられたことと思います。本年も皆様にとりまして健康で平和な、希望に満ちた年になりますようお祈りいたします。

昨年は大変痛ましい天災、事故に揺れた一年でした。東日本大震災では2万人近い犠牲者と、それに続発した原発事故で33万人の住民が避難を余儀なくされています。阪神淡路大震災を経験した私達以上の被害に、道程は厳しいですが、早く復興をと祈らずにはいられません。朝は必ずやってきます。昨年日本の世相を象徴する漢字、「絆」はまだまだこの日本の各地に息づいていると考えます。ただ、原発事故収束に向けて、現在、楽観的空氣が流れていることに一抹の不安を感じます。

現在の我が国の医療のキーワードは、「地域連携」による「地域完結型医療」です。「地域完結型医療」は各医療施設が、互いの得意とする機能を分担して医療をおこなうとするもので、厚生労働省もその方向をすすめています。今年も先生方とともに、この三田地域の医療全体のさらなる充実に向けて、昨年以上に邁進してまいりたいと思っておりますので、ご指導・御協力のほどよろしくお願い致します。

ところで、先日、百歳になられた柴田トヨさんの詩集「くじけないで」を読む機会がありました。亡くなった母を思い出し、しみりとさせられました。詩集の中にこのようなものがございましたのでご紹介させていただきます。

—先生に— 私を おばあちゃん と よばないで 「今日は何曜日？」 「9+9は幾つ？」 そんな バカな質問も しないでほしい	「柴田さん 西条八十の詩は 好きですか？」 小泉内閣を どう思いますか？」 こんな質問なら うれしいわ
---	---

これからは私達もお年寄りに変な質問はやめなければなりませんね。それにしても、元気をくれる詩や言葉が当院にも溢れるとしたら、なんと素晴らしいことだろうと思います。印象に残った詩でしたので、興味をもたれた先生方はぜひ一度、この詩集をお読みくださいましたら幸いです。

# 地域オープン研修「胃ろうケア」勉強会を開催！



## 「胃ろうケア」勉強会を開催！！

平成24年1月11日(水)に当院においてリソース主催で地域オープン研修「胃ろうケア」の勉強会を開催しました。日頃、お世話になっている医療機関や訪問看護ステーションの看護師さん、居宅介護支援事業所のケアマネジャー、介護士さんなど他職種の方々にご参加いただきました。年初めにもかかわらず、院外より50名と多くの方々にご出席いただき、院内職員47名も含め、合計97名と会場がいっぱいになるほど大盛況でした。

今回は、  
**外科 松本 晶子医師**：「経腸栄養アクセスとしてのPEG ～胃ろうの適応と種類、術式～」  
**皮膚・排泄ケア認定看護師 高橋 佳子 看護師**：「胃ろう部の観察とスキンケア」  
 について講演しました。

会場からも様々な質問があり、有意義な勉強会であったと思います。当院では医療・介護分野の関係機関が各々の役割・機能を発揮しながら、互いに協同・連携のもとに、地域全体で地域住民の命と健康を守ってまいりたいと考えております。そういった意味でもこのような勉強会を今後も継続し、地域の中核病院として当院のスタッフも含め、地域医療従事者の資質向上に尽力していきたいと思っております。

地域のみなさまにおかれましては、今後も継続してこのような勉強会を企画させていただきたいと思っておりますので、その際はぜひご参加いただければと思っております。



講演の様子



外科 松本医師



吉田看護部長より挨拶



高橋 皮膚・排泄ケア認定看護師

# 神戸市北区医師会学術講演会で講演！



1月21日(土)、当院の心臓センター長 吉川 糧平医師が神戸市北区医師会学術講演会にて講演いたしました。

**演 題：冠動脈疾患の診断と治療の最新トピックス**

先日、神戸市北区医師会学術講演会にて当院の吉川心臓センター長が講演するというので、地域医療連携室より、吉本、竹田の2名も参加させていただきました。

当日は15名のご参加があり、私どもも先生方に交じり、勉強させていただきました。

自分のところの先生の講演でしたが、普段、一緒に仕事をしているものの、なかなかこのような話を聞くことも少ないので、地域連携に携わる者として大変、有意義でした。

今後も積極的にこのような場に参加させていただきたいと思っております。また、このような勉強会の企画も行ってまいりたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

地域医療連携室 地域連携センター長 吉 本

地域医療連携室もお正月らしくしています！！



吉川 心臓センター長



学術担当 吉田医院の吉田先生



講演の様子



心臓センターの概要説明